

21 世紀に向けての社会保障

平成 12 年 10 月

社会保障構造の在り方について
考える有識者会議

21 世紀に向けての社会保障

はじめに	1
I 社会保障の役割	4
(社会保障の果たすべき機能)	4
(社会保障と経済)	5
(医学・医療の進歩と社会保障)	6
II 持続可能な社会保障	7
(世代間の公平の視点)	7
(持続可能な社会保障の構築に向けた方策)	8
1. 支え手を増やす	9
(支え手を増やす)	9
(個人の選択に中立的な制度の構築)	9
(健康づくり・予防の推進)	11
(子どもを産み育てやすい環境を整備する)	11
2. 高齢者も能力に応じ負担を分かち合う	13
(負担を若い世代と高齢者で分かち合う)	13
(現在の現役世代と将来の現役世代)	15
(高齢者の資産の問題)	15
3. 給付の見直しと効率化	17
(給付の基本的な考え方)	17
(給付の効率化と合理化)	17
(制度間の給付の調整)	17
(年金給付の在り方)	18
(高齢者医療の見直し)	19
(効率的で良質な医療の確保)	20
(介護・福祉について)	20

4	社会保障の財源の調達	22
	(社会保障の財政方式)	22
	(公費負担の在り方)	25
III	21世紀の社会保障に向けての国民の選択のために	28
	(選択の幅)	28
	(負担を増大させても給付を確保していく選択)	28
	(負担を増大させずに給付を見直していく選択)	29
	(社会保障の進むべき途)	31
IV	21世紀の社会保障のために	32
	(選択に当たって)	32
	(政策運営の在り方について)	33
	【補論1】世代間の公平をどのように考えるか	34
	【補論2】個人の選択に中立的な社会保障の在り方	36
	(個人単位化について)	36
	(在職老齢年金制度について)	39
	【補論3】少子化対策等	39
	(少子化対策の推進)	39
	(外国人労働者の受入れについて)	40
	【補論4】積立方式への移行と二重の負担	41
	【補論5】年金給付の在り方に関する議論	43
	【補論6】新たな高齢者医療制度に関する意見	45
	【補論7】社会保険方式と皆年金	47
	【付 表】社会保障の給付と負担の見通し	付-1